

東つ子

日本一
明るい
東小学校

アナログ人間の つぶやき

雨の後道を歩くと、そよ風に吹かれて青葉からパラパラと雨雫が落ちてきます。これを昔から「青葉時雨」と言っています。

雨雲が去り青空が広がってくるころよくこういう体験をしますが、「ああ、青葉時雨だ!!」などと頭には思い浮かびません。日常に使い慣れていない言葉だからです。このような、古くから伝わる微妙なニュアンスを持つ美しい言葉、細やかな風習や伝統などが、この日本から失われつつあります。人間の脳は超デジタルですが、心は超アナログです。両方がバランスよく機能するのが人間なので、デジタル化ばかり進んで、デジタル化ばかり進んで、しかし、変えてはいけません。人は人と人の心の交流ではないでしょうか。学校の便りの五月号を発売した後、東小の子どもたちは多くの心の交流を通して成長しています。



◇給食試食会・講演会

五月二十三日(水)に、「給食試食会・講演会」を行いました。PTA保健給食部の皆様にご苦勞をいただき、一年生の保護者の方には多数ご参加をいただき、久方ぶりの給食に舌鼓をうち、栄養教諭の橘田先生の講演も加わり、大盛況の会となりました。

◇児童引き渡し訓練

六月四日(月)の中小合同引き渡し訓練には、各ご家庭の皆様にご協力をいただき円滑に行えたことを感謝申し上げます。

行事への参加・協力に感謝

今回は、基本的な引き渡しでしたが、天候や災害時の状況によって、引き渡し場所や方法を変更することもあります。

◇学校開放日&演奏会

六月九日(土)の学校開放日には、三校時に地域道徳公開として道徳科の授業を、四校時は算



数や国語、社会の授業を大勢の方に参観をいただきました。受付名簿を集計したところ計四百名を超す皆様

の参観をいただきました。午後PTA主催の講演会では、昨年に引き続き南中の吹奏楽部を招き、演奏会を行いました。



東小の卒業生も多く、先輩の奏でる演奏と東小の子どもたちが一体となり、会場全体で盛り上がりました。

修学旅行：より

五月二十三日(水)と二十五日(金)の二泊三日の日程で行われた修学旅行「日本一明るい修学旅行」をキャッチフレーズに、六年生六十六名全員が参加できたことで、大満足のスタートが切れました。



一日目は班ごとに鎌倉散策。途中で雨に降られましたが、集合場所の新江ノ島水族館に全班が無事に到着することができました。

二日目は、全体学習が中心でした。一ツリー。展望台から眺める景色は壮大でした。

次は、第五福竜丸での学習。平和を学ぶことができて、二日目のメインの国会見学。日本の政治の中枢を見学しました。



三日目はキツギニア。六年生は様々なことにチャレンジしていきましました。最後は私の肝いりのパレードに参加し、フィナーレを飾りました。

このチャレンジ精神で、九月のキャリア教育のワークショップへとつなげ、学習を展させ、契機ももたらして、思いを込めた「意味」が一日



本一明るい修学旅行」になると思っています。

そして、何よりも、六年生には保護者はじめ多くの人に支えられて旅行ができたことを忘れないうでほしいと思います。

日本一の声連合音楽会

六月十三日(水)に甲府の小学校四年生による連合音楽会が開かれました。五つの地域で行われ、東小学校は東ブロックの会場校となっていました。



四年生は、「日本一きれいな歌声で歌おう」を目標に合唱では「この星に生まれ」を、「合奏は「雨のちハレルヤ」の練習に懸命に取り組みました。本番の発表も素晴らしく感動的で、講師の先生からも合唱は、英語の歌詞の発音も上手で「ハーモニーがとってもきれいであったこと、合奏は、一つ一つの楽器の音色がよい上に、パートごとにまとまっていると高評価をいただきました。心を一つにした素敵な会でした。